

‘夏さやか’の果色別日持ち性

1 情報・成果の内容

(1) 背景・目的

‘夏さやか’は盆前に出荷可能な青ナシであり、日持ち性は7日程度であるとされているが、収穫時の果色別の日持ち性については検討されていない。そこで、収穫時の果色と日持ち性の関係を調査した。

(2) 情報・成果の要約

- 1) 収穫始めの日持ち性は、果色 3.0 および 3.5 の果実で 7 日程度、果色 4.0 の果実では 5 日である。
- 2) 収穫終わりの日持ち性は、果色 3.0 および 3.5 の果実で 5 日程度、果色 4.0 の果実は 2 日程度である。
- 3) 収穫終わりの果実は日持ち性が劣るものの、食味評価は高いため直売所などにおける販売が適している。

2 試験成績の概要

- (1) 8月1日、4日、8日、11日に収穫した果色 3.0、3.5、4.0 の果実を供試し、室温で貯蔵した。収穫時から果色（農林水産省カラーチャート「二十世紀」）及び熟度（ブリックスキャン（三井金属））について毎日継続して調査した。また、果色毎に各 3 果を抜き取り、硬度（マグネステレー硬度計）および食味（パネラー 2～7 名）を調査した。糖度合格基準（11.0）から判断して、2014 年は 8/1 時点で収穫期を迎えていた（第 1 表）。
- (2) 果色の日変化：8/1、8/4 収穫分は、収穫後数日間の変化が緩やかで、後半急激に進んだ。8/8、8/11 収穫分は、収穫翌日から色が進んでいった。熟度の日変化も果色と類似した動きを示し、青みが残る限界の果色（4.5）における熟度は 60 であった（図 1（データ一部省略））。
- (3) 硬度：8/1、8/4 収穫分は収穫当日の果肉が硬く、収穫後日数が進むにつれて柔らかくなっていくが、8/8、8/11 収穫分は、収穫時点で既に果肉が柔らかく、その後の日変化は小さかった（データ省略）。
- (4) 日持ち限界を果色 4.5（熟度 60）、硬度 3.5 とすると、果色 3.0 および 3.5 の果実は 5～7 日程度の日持ち性があるが、果色 4.0 の果実では 3 日程度であった（第 2 表）。
- (5) 食味を 4 段階で評価（3：非常に良い～0：悪い）したところ、8/1、8/4 収穫分の評価は、糖度基準を満たしていても低い傾向であった。8/8、8/11 収穫分は、概ね評価が高く、果色等から判断する日持ち限界を過ぎても良判定となる傾向であった。（図 2（データ一部省略））

表 1 各収穫日の果実品質（糖度）

収穫日 (満開後日数)	8月1日 (103日)	8月4日 (106日)	8月8日 (110日)	8月11日 (113日)
果色 3.0	11.3	10.7	12.0	11.7
果色 3.5	11.3	11.2	11.8	11.7
果色 4.0	11.5	11.8	12.1	12.0

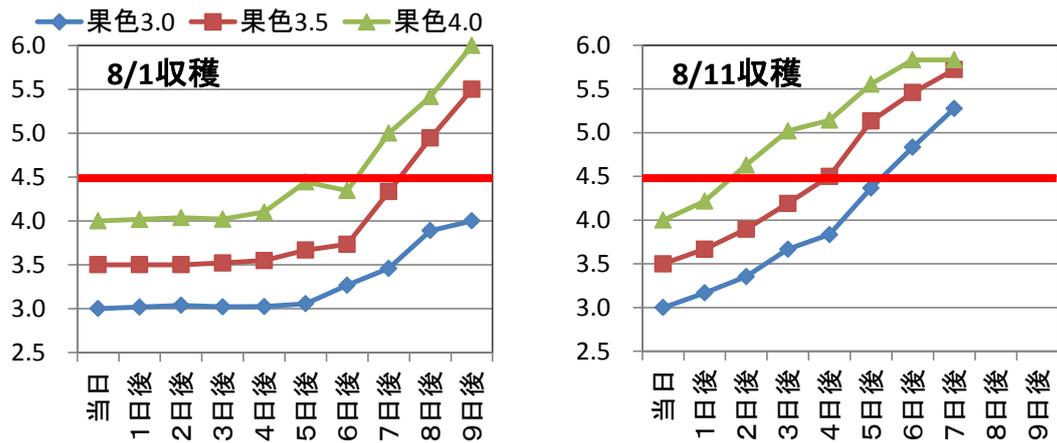


図1 収穫時果色別の果色の日変化の推移

※縦軸は果色、横軸は収穫後日数

表2 果色、硬度から判断した※各収穫日の果色別日持ち日数

収穫時	8月1日		8月4日		8月8日		8月11日	
	果色	硬度	果色	硬度	果色	硬度	果色	硬度
果色3.0	9<	7	6	6	6	7	5	6
果色3.5	7	7	4	5	4	4	4	3
果色4.0	5	5	3	4	3	3	2	0

※日持ち限界を果色4.5、硬度3.5とした場合

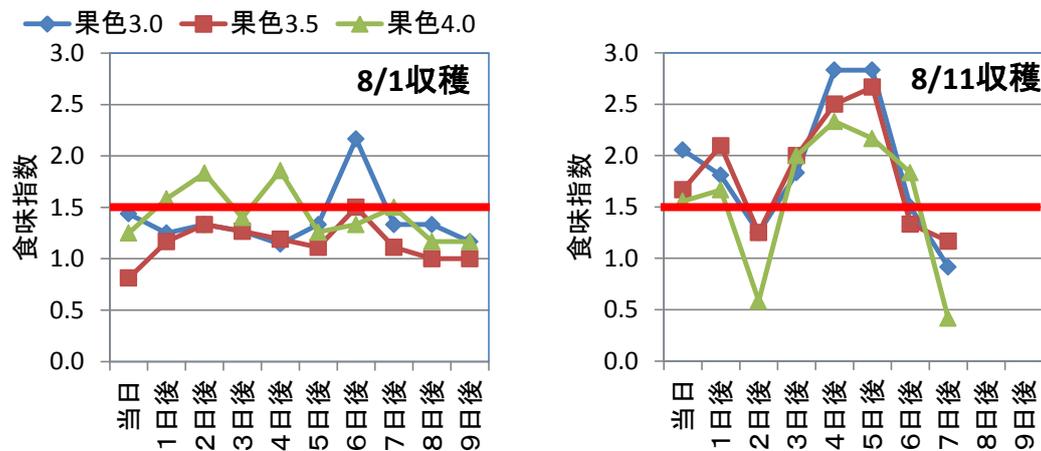


図2 収穫時果色別の食味指数の日変化の推移

※4段階評価(3:非常に良い、2:良い、1:やや悪い、0:悪い)、横軸は収穫後日数

3 利用上の留意点

- (1) 年によって果色先行型、果肉先行型など果実生育の傾向が異なるため、本結果は目安として扱う。
- (2) 収穫後期における果色が進んだ果実は市場出荷に向かないが、収穫から販売まで日数のかからない直売所等、販路を工夫すれば出荷可能と考えられる。

4 試験担当者

〔 果樹研究室 研究員 岡垣菜美
室長 池田隆政 〕